

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	エホバの証人の患者に対する大腸肛門科手術での安全性の検討
研究責任者	聖隷浜松病院 大腸肛門科 佐藤純人
研究実施体制	聖隷浜松病院 大腸肛門科 小林靖幸 浜野孝
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2024年 3月 31日
対象者	2008年6月から2022年9月間に聖隷浜松病院大腸肛門科で手術したエホバの証人の患者さん
研究の意義・目的	エホバの証人に代表される宗教上の理由で輸血を拒否する患者で、現在我が国には20万人を超える信者が存在します。血液製剤が使用できないことで治療に難渋する場合が想定される一方で、全血や赤血球、血小板などは受け入れないが、自己血輸血や血症分画製剤は受け入れるなど個人により、受け入れの対応が異なります。 当科ではエホバの証人の患者さんに対する無輸血外科治療を施行してきました。今回大腸肛門科領域の消化器疾患に対して手術を施行したエホバの証人の患者さんの手術と周術期治療の内容を検討しその安全性を検証します。
研究の方法	対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査を行います。 性別・身長・体重・病名・手術術式・ヘモグロビン値・入院日数・予後 得られたデータは、統計ソフト JMP ver14 を用いて統計学的に解析し評価します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 大腸肛門科 (氏名) 佐藤純人 TEL:053-474-2222(代表) 大腸肛門科外来 9:00~17:00 平日